

主役は俺だー 2022年秋⑥

■金井康晴（かない・やすはる） 東京農業大 QB 3年

東京農業大が室蘭工業大を29-0で下し、15年ぶりの1部復帰を決めた昨年10月の道学生選手権1、2部入れ替え戦。QB金井のパスがうなりを上げた。11回投げて9回成功し、このうち4本がTDパス。総獲得距離286ヤードのうち、7割以上の208ヤードがパスだった。25ヤードのFGを含めてすべての得点を演出した殊勲者は「パスを通すのが目標だったので、納得できた試合だった」と満足そうに振り返った。

アメフトを始めたのは神奈川・舞岡高で。2019年のラグビーW杯での日本代表の活躍に刺激され、父親がアメフト経験者だったこともあり「似たスポーツ」のアメフト部に入った。「当たるのが好きだった。みんなよりも投げるのがうまかったから」とQBに。東京農業大でも即戦力として期待されたが、1年生の2020年は新型コロナウイルス禍で活動が禁止され、道学生選手権2部を棄権。満を持して臨んだ昨年は、「初戦の北海道医療大戦はむちゃくちゃ緊張したが、自分で走ってTDを上げて自信がついた」と26-0で快勝。決勝の北海道科学大戦も70-7で大勝した。

「4年生と5年生が本当に喜んでくれた」という1部復帰決定から1年。今年の道学生選手権は、1年生9人を加えた総勢21人で晴れ舞台に挑む。春季オープン戦は2試合とも惜敗だったが、ラン、パス、FGとバランス良く得点して手ごたえもつかんだ。

そんなチームに今月20日、激震が走った。新型コロナウイルスの陽性者が複数確認され、開幕戦の北海学園大戦を急ぎよ棄権することになった。仕切り直しは第3節（9月11日）の北海道大戦。攻撃リーダーは「まずは1部のチームときちんと戦えること。そこから勝機も見えてくる。QBが自信を持ってプレーすることが一番大事」とあらためて気を引き締める。「持ち味のランを生かすためにカットバックの練習をしている。ロングパスのTDも取りたい」と力強い目標も掲げた。



〈プロフィール〉

2001年12月21日、神奈川県横浜市生まれ。生物産業学部北方圏農学科。神奈川・舞岡高出身。175センチ、70キロ。「尊敬する選手は、NFL元パンサーズのQBキャム・ニュートン。走るタイプのQBだった」。